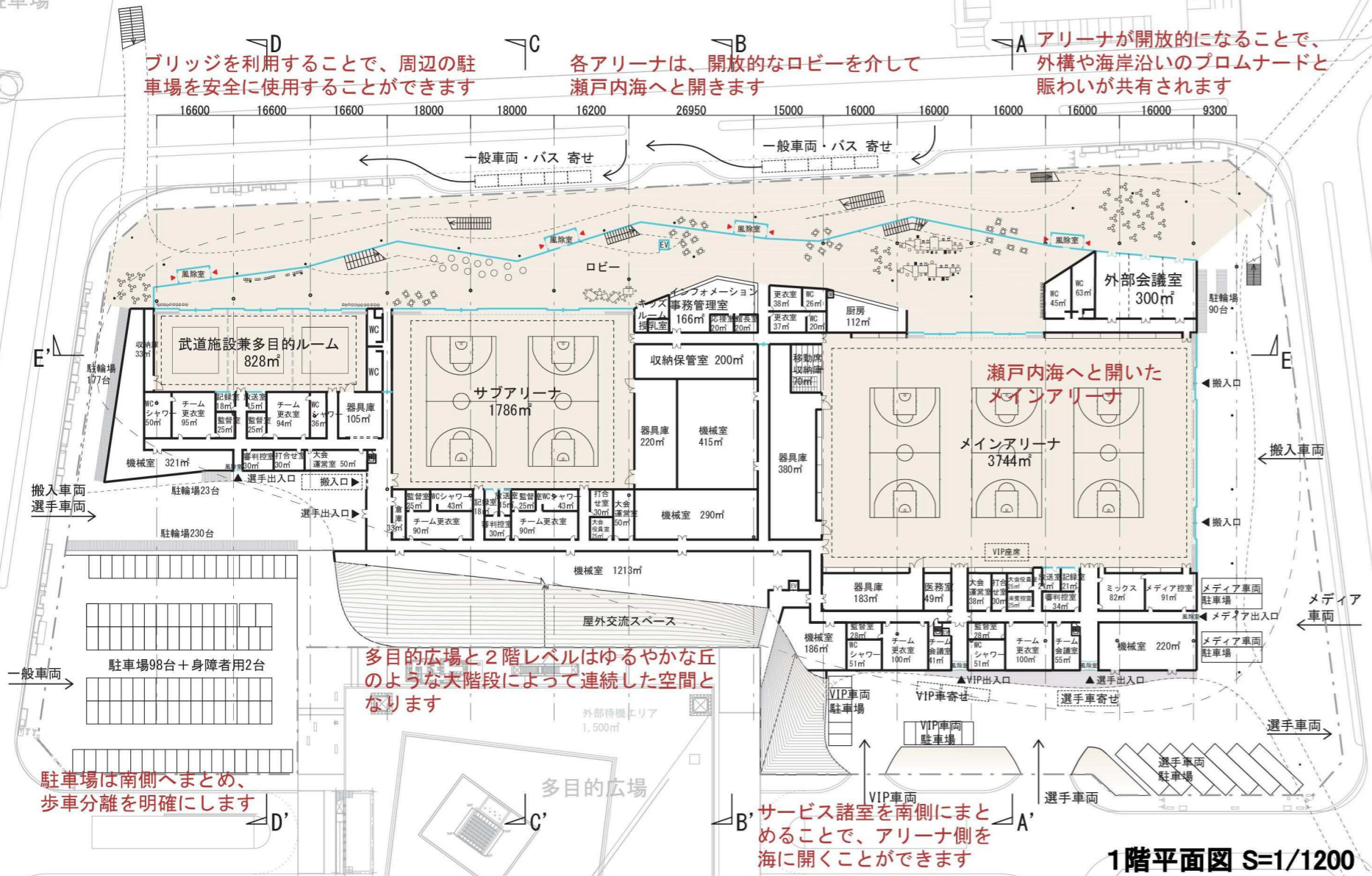


1階：管理ゾーンを南側へまとめることで、ロビー及び各アリーナを瀬戸内海へ大きく開くことができます

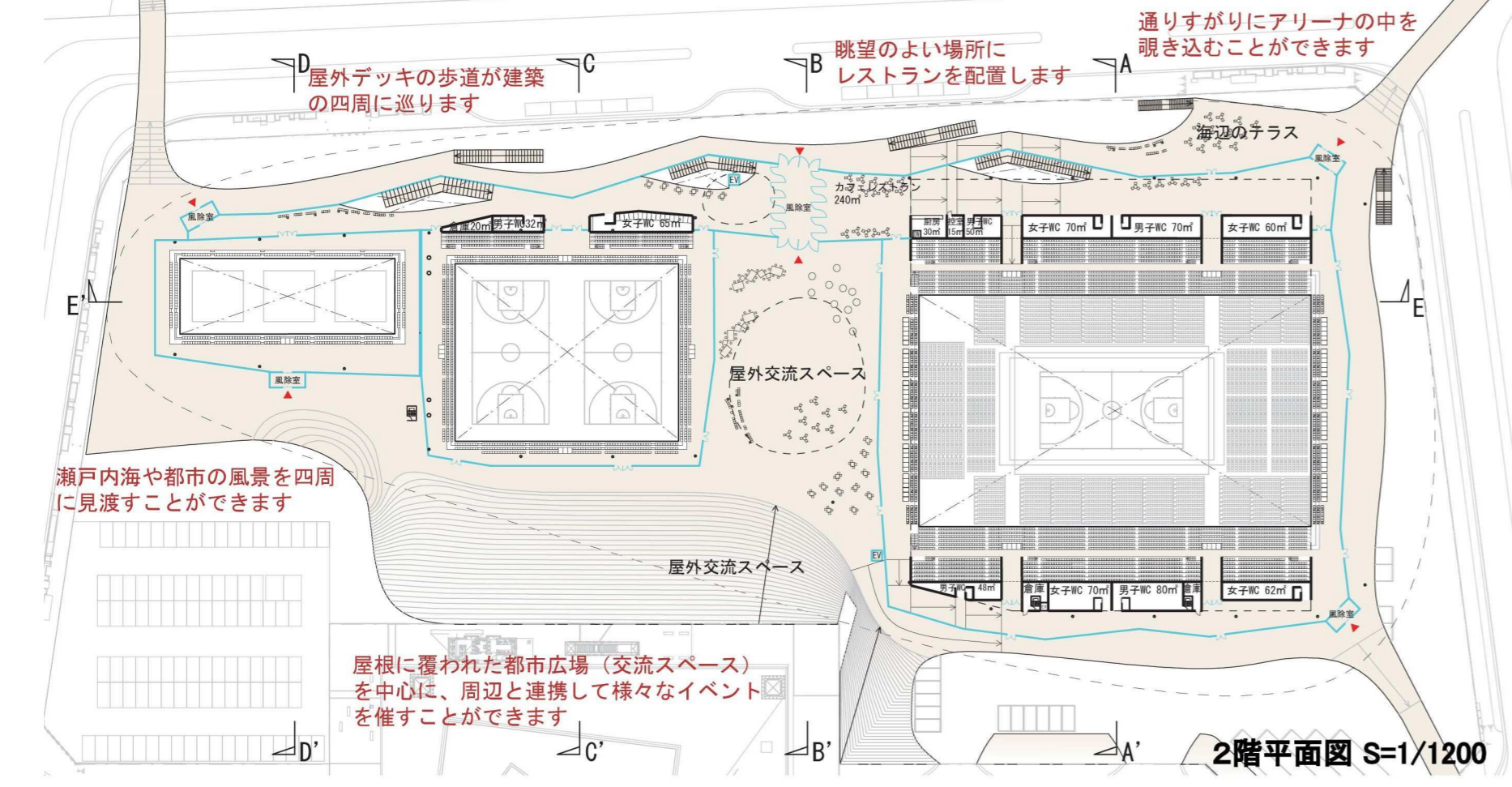


1階平面図 S=1/1200

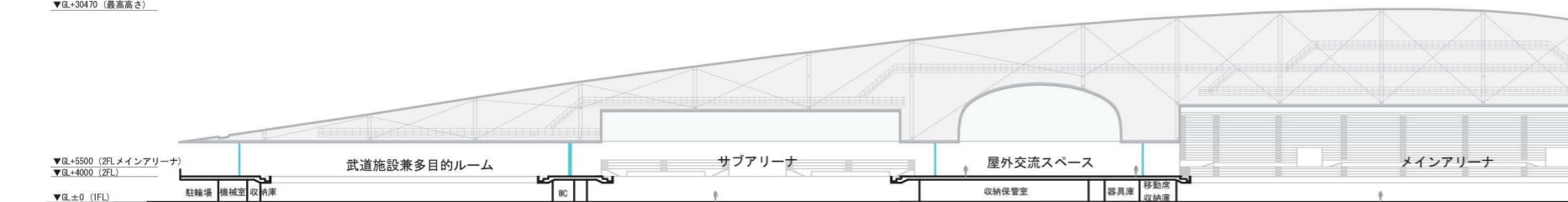
Table with 3 columns: 座席数表 (Seating Capacity), 面積表 (Area Table), and 駐車場・駐輪場 (Parking/Bike Parking). Lists seating for Main Arena (5755 seats), Sub Arena (1008 seats), and武道・多目的 (316 seats). Also lists floor areas and parking spaces for general, VIP, and media.

3階平面図 S=1/2000

2階：多目的広場やプロムナードなどの周辺の都市施設をつなぎ合わせる、ひとつつながりのデッキ空間



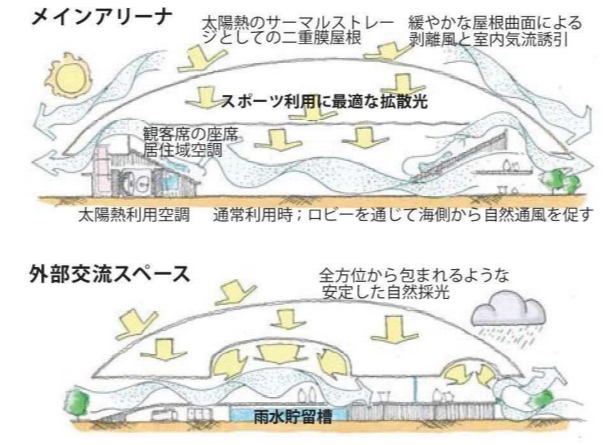
2階平面図 S=1/1200



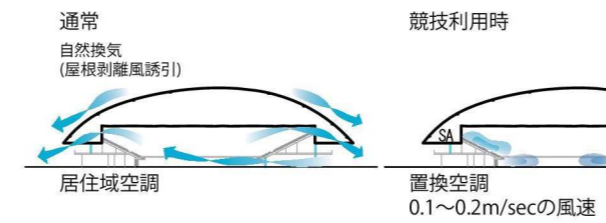
断面図 S=1/1000

自然エネルギーを活かした効率的な環境・設備計画

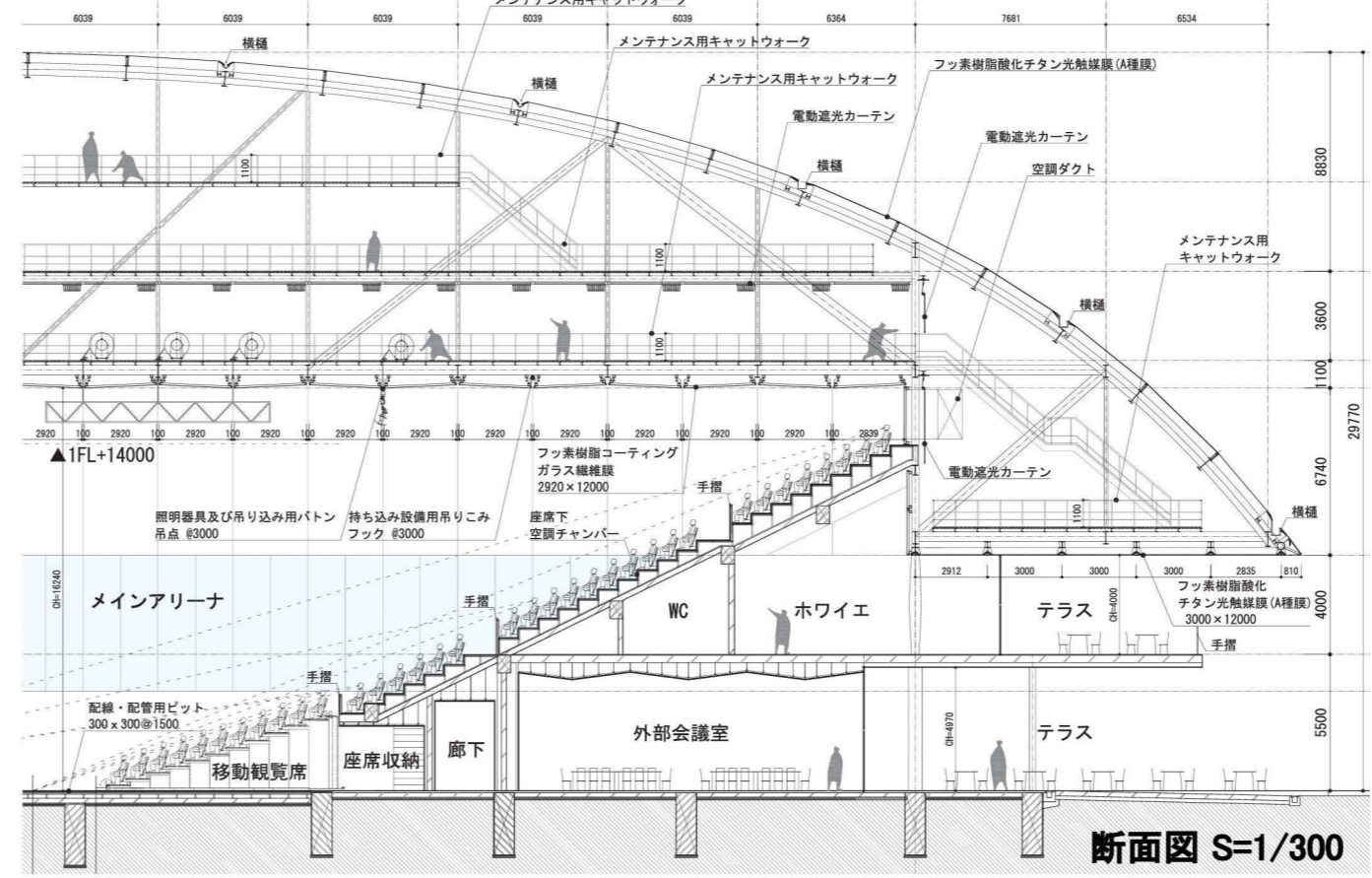
自然エネルギーを積極的に利用し、アリーナの置換空調や観客席の座席空調、LED照明といった高効率設備システムも加え、施設の光熱水費を約39%低減することができます。



多様な使い方に応じた効率的な空調計画

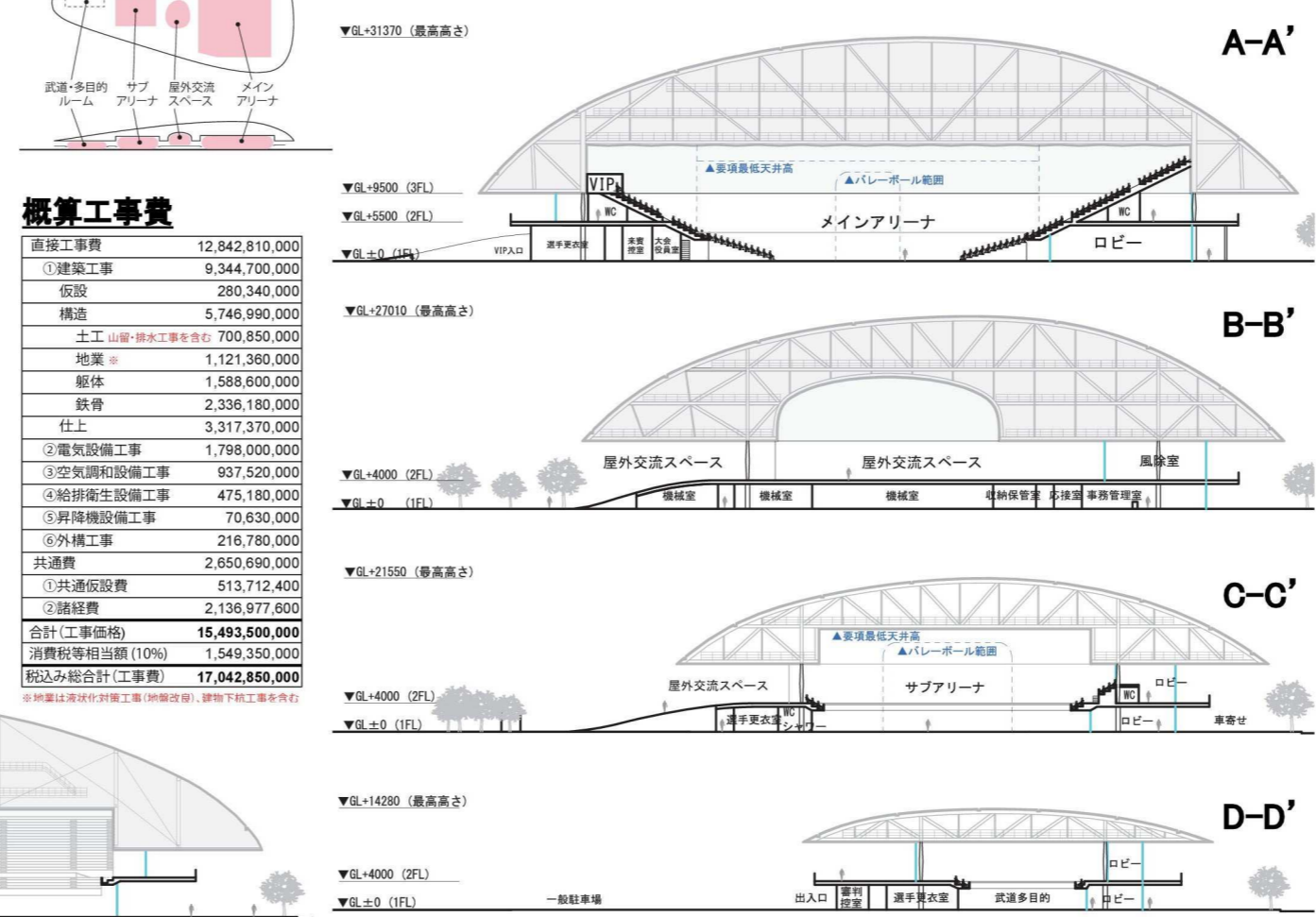


大きな天井はメンテナンスや設備空間として有効活用されます



断面図 S=1/300

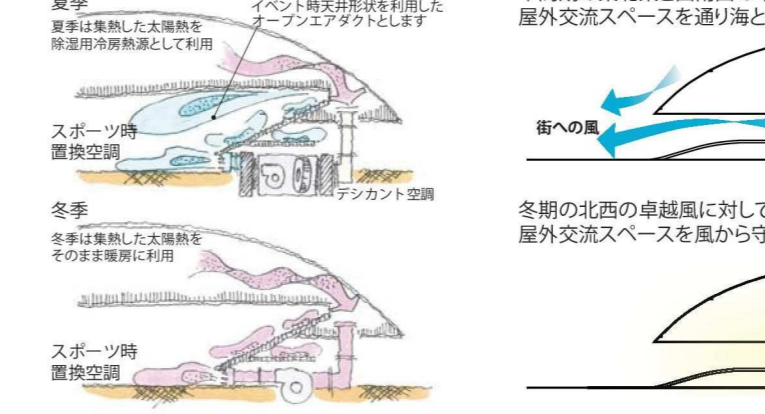
機能に応じて変化する断面形状に対応した合理的な構造躯体とします



断面図 S=1/1000

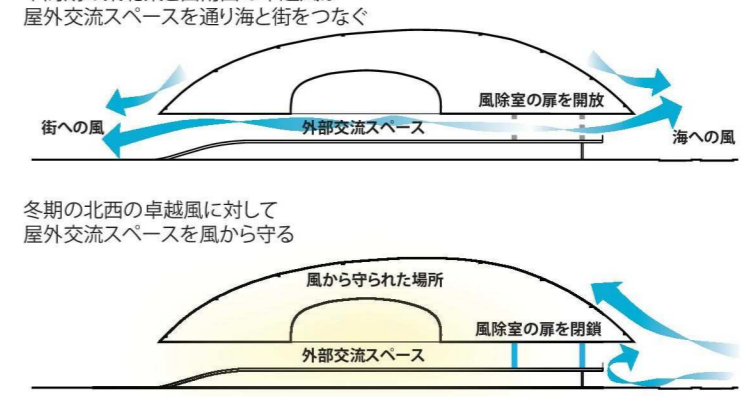
膜に覆われた大きな天井はサマルストレージとして機能します

膜屋根は太陽熱を蓄熱し、空調用エネルギーとして再利用することで冷暖房エネルギーを約45%低減させることができます。

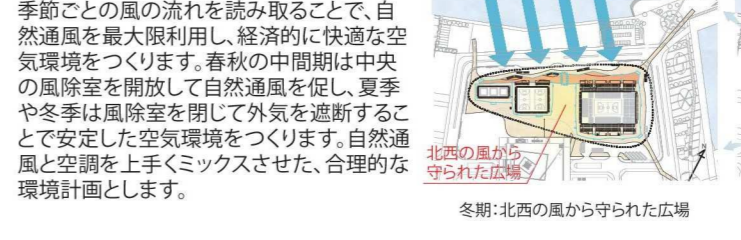


屋外交流スペースは、屋外でありながらも空気の流れが適切に制御された快適な空間とします

風除室を開け閉めすることで、屋外交流スペースの空気の流れを制御し、季節に合わせて快適な空気環境をつくれます。

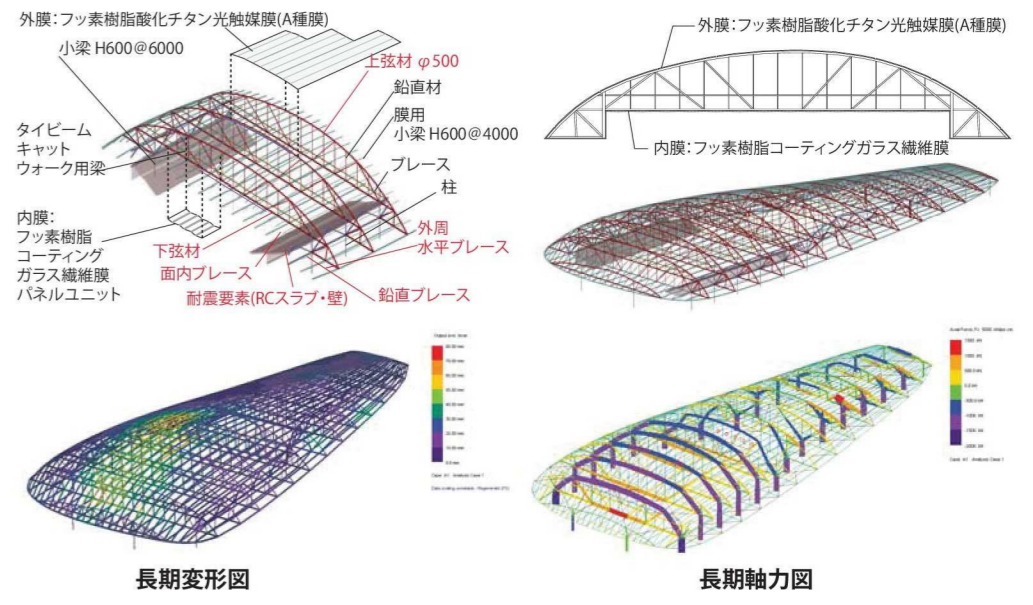


季節ごとの風の流れを考慮した環境計画とします



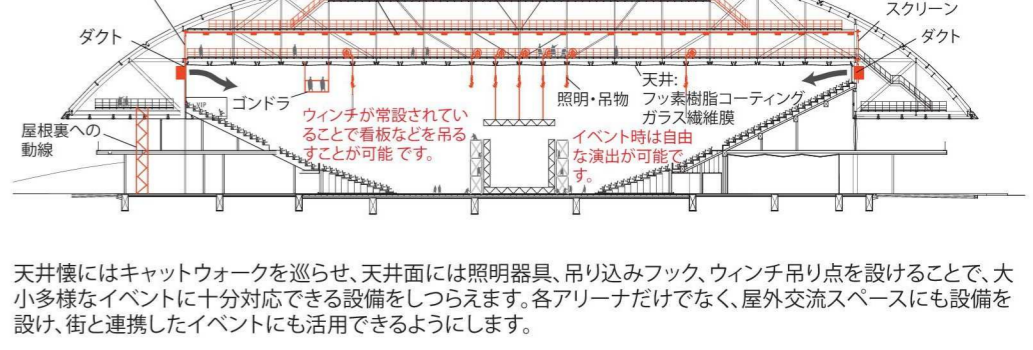
天井面と屋根面によって包まれたヴォリュームが飛行船のような軽やかな構造を実現します

全ての空間の上に浮遊するような「第二の空」としての大屋根の構造的特徴は、大空間の外周を覆う外殻構造ではなく、大きなヴォリュームを持つ閉じた立体構造であることによる。緩やかな曲面の屋根面とフラットな天井面の間に生まれる空間を、十分な高さを有する構造領域として有効活用することで、黎明期の飛行機や飛行船の構造のように、繊細なフレームと膜によるシンプルで軽量構造とします。

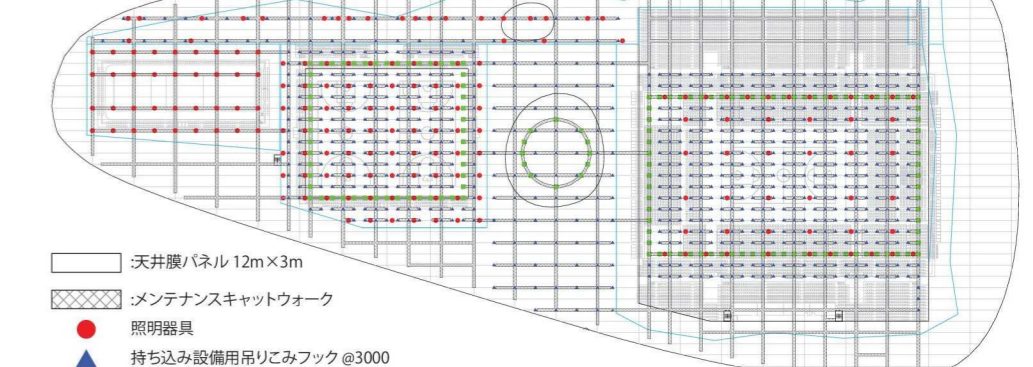


大きな天井には大規模イベントに対応可能な設備と空間をしつらえます

特徴的な大きな天井は、メンテナンスや設備のための空間として最大限活用します。音楽ホールのフライタワーのような役割として十分な設備を備えた裏方として機能します。



屋根に覆われた都市広場(交流スペース)を中心に、周辺と連携して様々なイベントを催すことができます



断面図 S=1/1000

断面図 S=1/1000

断面図 S=1/1000